

瑞穂市で活躍する女性に聞く!

男女共同参画

画家 大平 由香理さん

「意味がわからないもの」の意味



私は絵を描くことを仕事にしています。これまでさまざまな土地の美術館などに声をかけていただき、作品をつくり展示会をしてきました。大学進学とともに地元をずっと離れて活動していますが、昨年はついに岐阜県美術館にて滞在公開制作の個展の機会に恵まれ、改めて岐阜の風景に向き合うことができました。

みなさんは日常生活の中で「意味がわからないもの」に出会ったことはありませんか？
芸術作品の中には一目見てわかるもの、後で考えてわかるもの、時には全くわからないものなど、いろいろなものがあります。私は作品に出会うということは、「価値観の拡張」につながっていると思います。他者の視点や価値観に出会うということは、想像力を養うことにつながり、時に人生の選択肢を増やしてくれると思います。

profile

- 1988 瑞穂市生まれ
- 2013 東北芸術工科大学院 修士課程
日本画研究領域修了
- 2016 公開制作(柳津町立斉藤清美術館/福島)
- 2020 アーティストインレジデンスつなぎ2019
(つなぎ美術館/熊本)
- 2021 第8回東山魁夷記念日経日本画大賞展
(上野の森美術館/東京)
- 2022 アーティストインミュージアムVOL12
(岐阜県美術館/岐阜)

これまでさまざまな土地に呼んでいただいて絵を描いてきましたが、やはりどこにいても思い出すのは私の原点であり、原風景であるここ瑞穂市の風景です。私の絵画制作における「旅」はここ瑞穂市から始まったと思っているので、これまでさまざまな土地で得てきた経験やエネルギーを私の原点である岐阜に少しでも還元することが私の目標です。

芸術が直接的になにかの課題を解決したり、解消したりすることは難しいかもしれませんが、作品に出会った人の1日や数時間は変えられるかもしれない。芸術がもっている力を信じているからこそ、私は表現することをやめないのです。

●問い合わせ

総合政策課 ☎ 327-4128